

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い けん そ う ぶ つ

指定文化財(建造物)

くらしきかん

倉敷館

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



ば しょ

場所

・倉敷市中央1丁目



じ だい

時代

・大正時代



し て い ね ん が っ ぴ

指定年月日

・平成28(2016)年

10月17日



し ょ う

所有

・倉敷市



けん が く

見学

見学可※現在は修理中



この建造物について

大正6(1917)年に倉敷町役場として建てられた擬洋風の建物です。外壁は下見板張、白ペンキ塗で仕上げられています。

昭和3(1929)年の市制施行により建物が手狭になったため、市役所機能が移転しました。残されたこの建物は、倉敷市公益質屋、倉敷市農業共済組合事務所、倉庫)などとして使われ、荒れるままになっていました。

昭和43(1968)年に市民の中から保存の声が上がり、昭和46(1971)年の保存修理、昭和60~62(1985~1987)年の解体修理を経て、現在は「倉敷館」の名で観光案内所として利用されています。